

「めぐみに会いたい。」



1973年、広島県内で(小3)

めぐみちゃんと 家族のメッセージ

横田 滋 写真展～めぐみさん 家族と過ごした13年

2023年 8月2日[水]-14日[月]
日本橋高島屋S.C. 本館8階ホール

入場無料

ご入場時間=午前10時30分～午後7時(午後7時30分閉場)
※最終日8月14日(月)は午後4時30分まで(午後5時閉場)
※会場の混雑状況により入場制限をさせていただく場合がございます。

主催=あさがおの会 共催=朝日新聞社

後援=東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、東京都中央区、川崎市、東京都中央区教育委員会

※都合により、催し内容・会期などが変更になる場合がございます。

最新の情報は日本橋高島屋のホームページをご覧ください。

※安全のため、小学生以下のお子さまは必ず保護者の方ご同伴でご入場ください。



1977年10月、新潟市で(中1)

 **Takashimaya** NIHOMBASHI S.C.



1974年、広島県呉市の音戸の瀬戸公園で(小4)



1972年頃、広島県内で(小2)

家族みんなで楽しんだハイキングや旅行、夏の夜の花火大会。横田めぐみさんとご家族の幸せの記録は、お父様の滋さんが撮る写真とともに積み重なってきました。それが突然途切れてしまったのは、1977年、めぐみさんが中学1年生のとき。学校からの帰宅途中に拉致され、家族のもとから引き離されてしまったのです。

それから46年。めぐみさんをはじめ拉致被害者の帰国に向けた目立った動きがみられない中、被害者の家族は高齢化が進み、2020年6月には滋さんが逝去されました。本展では、滋さんが生前に撮影した「家族のかつての幸せだった時間」と、めぐみさんの思い出の品を公開。めぐみさんの輝いていた13年間の記録とともに、幸せな時間を奪われた滋さん・早紀江さんご夫妻の悲しみや憤りを自分の事として感じていただき、ご家族が苦しんでこられた年月の長さ、一刻も早く娘を取り戻したいという横田さんご夫妻の願いをご来場の皆様にお伝えします。

「娘に会いたい。」 横田早紀江さん・ 有本明弘さん座談会

■ 8月2日[水] 午前11時30分から
■ 写真展会場内特設スペース

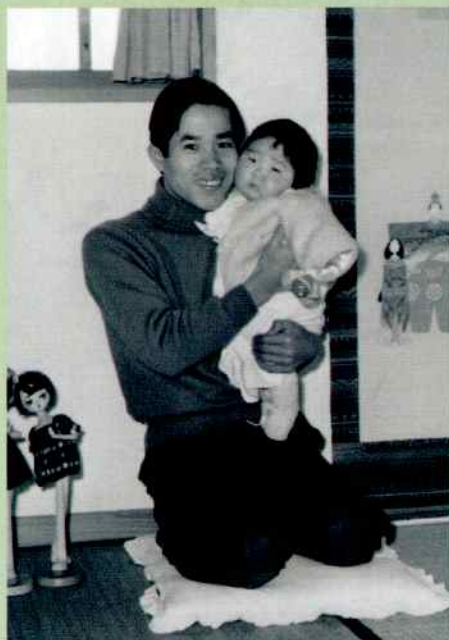
親の世代はお二人だけになりました。
残された時間はわずかです。
娘との再会を切望するお二人の
胸の内をお話いただきます。



横田早紀江さん

有本明弘さん

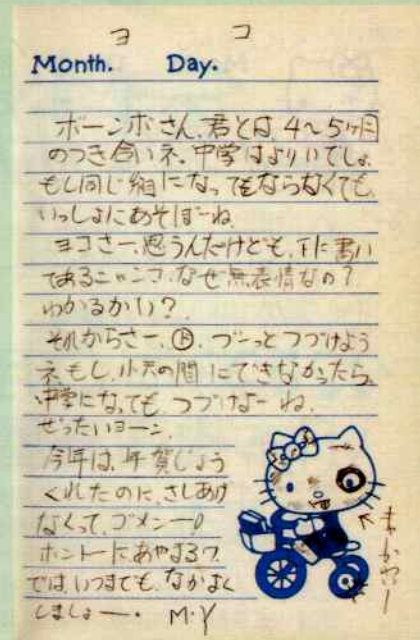
※体調不良などによって、座談会の内容が変更
または中止になる場合がございます。



1965年3月、名古屋市の自宅で(5ヶ月)



1976年8月、新潟市の自宅で(小6)



新潟小学校の親友・真保恵美子さんの交換ノートに記された、横田めぐみさんのメッセージ